

平成29年度第4回茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会会議録

議題	1 認定コミュニティの認定基準への適合に関する事項及び認定コミュニティの活動と特定事業に関する事項の審議方法等について 2 その他
日時	平成30年3月30日（金）13時30分から15時00分まで
場所	市役所分庁舎5階特別会議室
出席者氏名	大塚委員、上原委員、名和田委員、水島委員、三輪委員 （欠席委員）平井委員、高橋委員 （事務局）市民自治推進課 富田課長、永倉課長補佐、 小松担当主査、竹井担当主査、窪田副主査
会議資料	資料1 本日以降の流れ 資料2 活動状況実績表（案） 資料3 茅ヶ崎市認定コミュニティの活動状況等に関する助言シート（案） 参考資料 茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例に基づくコミュニティの認定状況等について 追加資料 新たな地域コミュニティの取り組み～各地区での取り組み状況～
会議の公開・非公開	公開
非公開の理由	—
傍聴者数	0名

（会議の概要）

○事務局（富田課長）

それでは、ただいまより平成29年度第4回茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会を開催させていただきます。私は、市民自治推進課長の富田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会規則第5条第1項におきまして、「審議会の会議は、

会長が招集し、その議長となる。」という規定がございます。このことから、以後の議事につきましては、名和田会長の進行でよろしくお願いいたします。

また、議事に入ります前に、事務局より資料の確認をさせていただきます。

○事務局（永倉課長補佐）

それでは事務局の永倉より、配付資料の確認をさせていただきます。まず、事前にお送りさせていただいた資料といたしまして1枚目、次第、その次に、資料1「1 審議会での調査審議に必要な新様式の作成及び提案」、「2 本日以降の流れ」というものが書かれたA4、1枚のものです。そして資料2といたしまして、「主要事業の実績表（新様式案）」A3、1枚のものになります。また、資料3といたしまして、「茅ヶ崎市認定コミュニティの活動状況等に関する助言シート（案）」、認定基準確認表といたしまして、A3を折ってあります1枚の資料です。続きまして、サンプルといたしまして、平成28年度の取り組み状況、認定コミュニティ活動状況資料「〇〇地区まちぢから協議会」というホッチキスで束ねた少し分厚い資料です。その後参考資料1、参考資料2と書かれたもの、以上8点に加えまして、本日机上配付とさせていただきます、またこちらも「サンプル」と書いてあります「新たな地域コミュニティの取り組み～各地区での取り組み状況～」という資料になります。過不足等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。以上になります。

○事務局（富田課長）

それでは、議長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○名和田議長

資料はお揃いでしょうか。では、始めさせていただきますと思います。

まず、冒頭に会議の開催要件を確認させていただきます。茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会規則第5条第2項において「審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」と規定されております。本日は過半数、7名中5名の委員の出席をいただいておりますので、会議は成立することをご報告いたします。

今日は、欠席の委員のご都合など伺っていますか。

○事務局（永倉課長補佐）

平井委員、高橋委員からは、ご欠席の旨、事前にご連絡をいただいております。

○名和田議長

2人ご都合が悪いということで、今日は5名の委員が出席していて成立しています。それから、傍聴人は今いらっしゃらないので、来られた際は、またそれで私から指示したいと思います。

本日の会議の議事録署名人ですが、名簿順で前回高橋委員でしたので、今回は水島委員ということでお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

○水島委員

はい。

○名和田議長

審議に入る前に、前回は平成30年1月30日に開催いたしておりますが、その第3回審議会で審議された内容の振り返りをいたします。

次第の2「報告事項について」ですが、第3回審議会で調査審議した答申結果及び認定申請に対する市長の決定について振り返りと、それから市長がどういう決定をしたのかという事の報告を事務局からお願いしたいと思います。第3回審議会では、覚えてはおられると思いますが、市長から2地区、従来は茅ヶ崎地区であったところが2つに分かれまして茅ヶ崎南地区と茅ヶ崎地区、この2つの地区のまちぢから協議会から認定コミュニティの申請がありまして、それについて市長から諮問があったということでありました。我々としては認定が適当であるという旨を市長に答申いたしました。その後、市長がどういう決定をされたかということなど、前回の振り返りも含めて事務局より説明をお願いしたいと思います。

○事務局（富田課長）

お手元の資料の右上に「平成30年3月30日参考資料」と書いてございます。こちらの参考資料にございます、「茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例に基づくコミュニティの認定状況等について」を改めてご覧いただきたいと思います。

まず項番1、茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例に基づくコミュニティの認定につきましては、答申結果を踏まえて、茅ヶ崎南地区及び茅ヶ崎地区まちぢから協議会を平成30年2月8日付で認定といたしました。こちらの資料の表でございますと11番、12番がそれに当たります。これで、13地区のうち12の地区でまちぢから協議会が認定されたという結果となります。

続きまして項番号2、認定コミュニティに対する特定事業助成金について、ご報告させていただきます。前回、第3回審議会で報告した事項からは、特に新規の提案事業はございません。こちらにございます10事業で29年度は終了という形になっております。ま

た、次年度への継続的な事業の実施につきましては、3月13日に第5回認定コミュニティ企画事業審査会、これは市の内部審査会でございますが、こちらを実施いたしました。その審査は5件、30年度も継続して取り組んでいただくという手続きをしております。ご紹介いたします。この項番2の表でいきますと、1番、浜須賀地区の地域乳幼児サポート事業、2番、浜須賀地区の広報発行事業、3番、松林地区の子どもと親子の居場所「おむすび松林」事業、地域の居場所づくりであります。4番、松林地区の中学生の学習支援と夕食支援事業、そして、6番の松浪地区、広報「まつなみだより」発行事業、以上の5件が継続事業として採択されたものでございます。

報告は以上でございます。

○名和田議長

ありがとうございました。前回の我々の審議で結果の出た、茅ヶ崎南地区と茅ヶ崎地区の2つのまちちから協議会を認定コミュニティとして認定することが適当であるという答申に対して、市長はそれに沿った決定をされたというご報告があり、かつ、お手元の参考資料に基づきまして、現在存在しているまちちから協議会がどういうものであるか、12個あるということと、それから、その幾つかが手がけている特定事業です。もちろん、まちちから協議会自体は普通に活動していらっしゃるわけなのですが、その中で特に認定コミュニティとして、市から特定事業補助金が出るという事業をやっている状況についてご報告がありました。来年度もその特定事業を行っていくというまちちから協議会があり、その事業について説明がありました。以上、振り返り、ご報告ですが、何かご質問やご意見はありますか。どうぞ。

○三輪委員

前回欠席して申しわけなかったのですが、特定事業助成金で今、5つは継続で残りはどういう状況になるのか教えていただけますか。

○事務局（富田課長）

その他につきましても、4月すぐに取りかかるものは、できるだけ3月の段階で事前に認定審査をしておいて、という流れを想定しております。ただ、もう事業が終わったものの中にはございます。例えば、8番の小出地区の「小出 子どもの街宣言」発行事業につきまして、発行は済んでおりますので、継続事業の提案はございませんでした。地域のコミュニティ活動促進のための盆踊りであるとか広報活動事業というのは、また違った形があれば、申請が上がってくるものと思います。

○三輪委員

では、見込みを持っているという理解で正しいですか。

○事務局（富田課長）

はい。

○上原委員

これは、4事業主と書いてありますが、5でいいのですよね。今おっしゃったのは5でしたよね。12月末現在10事業……

○事務局（富田課長）

こちらは29年度10事業のうち、この「うち4事業」というのは28年度からの29年度に継続されたものが4事業ありましたということです。

○名和田議長

他にいかがでしょうか。

特定事業は毎年、是が非でもとりにいくとか、茅ヶ崎市はそういう感じではありませんで、他の自治体ですと、毎年一定額をもらうのが当たり前だろうみたいになっている自治体が多いのですが、茅ヶ崎市は必要に応じてそういったお金をまちぢから協議会が申請してくるとなっているように思います。ですから、9番の湘南地区は、大分前から広報活動をやっておられると思うのですが、これで弾みをつけて後は自前でやっておられるということですかね。

○水島委員

広報紙は全部の地区で多分出しているのだと思うのですが、恐らく自治会なり、まちぢから協議会の、自治会等に出ている別のお金で出しているのかなという気もするのです。もしかしたら、地域の皆さんが会費的に納めているのを使っているかもしれません。一方で、こうやって特定事業のお金でやっている地域もあるということなのですが、その辺はあくまでも地域の判断でというところよろしいですか。

○事務局（富田課長）

広報紙の発行も、その地区によって力の入れ方といいますか、労力のかけ方が違ってきます。例えば、原稿を集めてレイアウトまで全部決めて、最後に印刷だけを外注すると、かなり安くなります。すると、この特定事業ではなく、運営費の補助金の中から充ててい

る地区も中にはございます。

○水島委員

小出のマップというのをたまたまいただいて、この事業に35万円出ているマップだと思います。こういうマップは、今のお話の広報と同じように、かなりのところが、名前は違っていてもマップづくりみたいなことをやっていて、たしか今年度も7~8万円ぐらいでやっていた地域もあったと思います。名前は、地区マップと呼んでいたたり福祉マップと呼んでいたたり、いろいろと名称は違うのですけれども、同じような事業を結構やっているような印象を持つので、お金の出し方というのはもう少し整理してもいいのかなという気がします。

○事務局（富田課長）

確かに地区の社会福祉協議会がこういった福祉マップ、お買い物マップをつくっている現状もあろうかと思えます。そのサイクルを私どもでは把握していませんが、ただ、それをもっと、地域を広く、いろいろな視点から地域を知ろう、地域を再発見していこうという思いが込められているのが、今お手元にあった小出のマップでありましたし、他の地区でも先行的にやった事例もございます。確かに、福祉に特化すればそのようなマップとなりますが、もっと総合的に捉えていると私たちは考えています。

○水島委員

わかりました。いけないということではなく、いろいろなマップをそれぞれに持っていて、その地域の皆さんの役に立つマップづくりをしているので、少しずつ捉え方は違ったとしても、地域の皆さんのためにも情報共有できるような形でつくっているものなので、それぞれ対象にしてもいいのかなという気もするのです。出してきたところは受けられて、そうでないところは地域のお金でつくっているというのが、主題がすっきりしないなという気持ちがあったので、広いものだったらこちらで、狭いものだったら違うというのは、ちょっと違うのかなという印象を持ちました。感想ですので、お答えは要りません。

○名和田議長

多分お金の出どころは、社協などが出しているお金もあるのかなと想像します。いろいろなお金があると思えます。ただ、広報事業については、どのまちから協議会も手がけているはずで、それがどのくらい豪華という言い方はよくないと思いますが、どのくらいのクオリティーのものをつくるかという考え方が協議会によって違うということであろうと思うのです。私自身、出ておきながらよく覚えていないということなのですが、部長

さんたちがやっておられる特定事業の審査会がありますよね。もし、あそこでそういった点について何か問題意識のようなものがあって、ここで披露して構わないようなものがありましたら、ご紹介いただければと思います。特定事業に適した事業と、今は初動期だからいいのだけれども、ゆくゆくはベーシックな事業としてまた違った枠組みが必要なのではないかと、そういった議論があったかどうかです。

○事務局（富田課長）

審査会でも意見がございまして、私たちが日ごろから課題だと思っております。やはり、まちぢから協議会を知ってもらうこの広報活動事業というのは、どちらかというと運営部分の範疇なのかなと考えております。ただ、この制度が始まって2年経過したところでございまして、運営費にかかる補助金の中での広報の出し方にもよるのですけれども、なかなかそこで賄い切れない部分もあるのかなと。先ほど言ったように、一方ではできるだけ印刷代を安くして運営費で賄っている地区もあるし、いや、やはり、もう少し分量を多くとか、カラーで見やすくとかいったことで、特定事業で上げてくるところも今、確かに混在してしまっているのが、いずれ検証していく中で整理していく、そういったところも、審査会の中でも一緒に共有しているところでございます。

○名和田議長

今の問題は、やはり水島委員がご指摘の1個の問題ではあって、今後、事務局でも状況を整理した上で、我々の審議会で議論する機会もあるかなと思います。

他に、ご報告のあった点で何かありますでしょうか。よろしいですか。

では、以上が報告ということで、前回の我々の答申は市長がそのまま受けてくださって、2つの協議会を認定したということでございますので、ご承知おきいただきたいと思います。

では、以下、3の議題というところに入りたいと思います。今回は、認定申請に対する調査審議というのはありませんで、「認定コミュニティの認定基準への適合に関する事項及び認定コミュニティの活動と特定事業に関する事項の審議方法等について」ということで市長から意見を求められております。ですから、今後どう審議していこうかという方法論の話であります。これにつきまして、事務局からご説明をお願いしたいと思います。

○事務局（富田課長）

それでは、審議をしていただくに当たりまして、茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例第8条の規定に基づき、市長にかわりまして総務部長より諮問をさせていただきます。

○事務局（総務部長）

市長にかわりまして諮問書を代読させていただきます。茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会会長、名和田是彦様。認定コミュニティによる公益の増進のための活動に関する調査審議について、茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会規則第2条の規定に基づき、次のとおり諮問します。諮問する事案につきましては、認定基準への適合に関する事項及び認定コミュニティの活動と特定事業に関する事項の審議方法等についてでございます。よろしくお願いいたします。

○名和田議長

今、市長からの諮問書をお預かりいたしました。委員の皆様には事務局より諮問書の写しを配付していただきたいと思います。委員におかれましては、今、読み上げていただきましたけれども、内容をご確認いただきたいと思います。

○事務局（富田課長）

では、議長、ちょっとよろしいでしょうか。

○名和田議長

はい。

○事務局（富田課長）

これから審議に入ってくださいわけですが、総務部長はここで退席をさせていただきます。年度末で諸事ございますので、よろしくお願いいたします。

○事務局（総務部長）

では、どうぞよろしくお願いいたします。

○名和田議長

では、改めて議題1を進めていきたいと思います。事務局より説明のありました諮問に対して、本審議会として調査審議をし、その結果を答申することになります。

では、事務局からご説明をお願いしたいと思います。

○事務局（永倉課長補佐）

では、事務局よりご説明させていただきます。まず、表を見ていただきますと一番上、

「3月30日」の欄が、本日の「第4回地域コミュニティ審議会」になります。本日の審議会の内容につきましてはその下、中段でございます、5月17日前後（予定）とされている「平成30年度第1回茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会」でご審議いただく内容の部分、つまり、認定を受けている12地区のコミュニティについて「認定基準への適合に関する事項」と「活動と特定事業に関する事項」の審議方法等について決定をしたいと思います、本日ご意見をいただくものとなっております。

なお、現在の審議会委員の任期が平成30年5月18日までとなっていることから、第1回地域コミュニティ審議会についても現在の委員で開催し、29年度の活動の振り返りと30年度の取り組み予定について助言をいただきたいと思いますと考えております。ちなみにこの後、来年度につきましては、7月中に1回、30年にもう1回、全3回を予定しております。第2回については新しい委員となることから、第1回で審議した内容の振り返りしつつ、審議会の流れ等のご説明をさせていただくことを予定しております。また、第3回に当たります3月につきましては、また翌年度の、本日と同じように助言の方法について振り返りを行うとともに、先ほどのお話の中にもありました、例えば運営費などの支援のあり方について、この段階において、事務局で案をそこでまたご意見を聞く模様になる可能性もあると思われま。

また、5月17日前後という第1回に戻っていただきまして、この第1回審議会におきましては、各地区の振り返りと助言について事務局では今、1地区15分と考えております。これは1地区15分といたしましても12地区あることから、その部分だけで180分、3時間の審議となります。また、途中で15分程度の休憩を入れて、その他事項の審議を含めると大体4時間弱を要することとなります。そのため、1地区15分の時間の中でもできるだけ審議会への皆様からのご助言をいただく部分でお時間をとりたいと考えておりますことから、この後に説明いたします資料のまとめとさせていただきました。

それでは、その上の「1 審議会での調査審議に必要な新様式の作成及び提案」について、ご説明をいたします。まず、去年は、平成28年度の認定コミュニティ活動の状況について、各地区から提出のあった資料に基づき、審議会当日にフリーで意見交換をしていただき、各地区への助言をいただきまして、最終的なものとしたしましては、先ほどの分厚い資料の一番後ろにある「参考資料2」というものです。去年でいいますと6月に28年度の振り返りを行いまして、皆様からいただいたご意見をまとめたものがこういった答申という形で最終的には市にフィードバックをしていただいております。ですので、今回5月17日に予定している審議会におきましても1地区15分×12地区、3時間、あとそれに加えてその他事項がありますので4時間弱の審議を踏まえた上で、こういった答申をつくっていただくというイメージを抱いていただければよろしいかと思っております。

今年度の振り返りを行うに当たりまして、まず昨年度の同様の資料といたしまして、今

見ていただいている資料の束、こちらはまだ28年度のをサンプルとしてつけていますので実際は新しくなるのですが、こちらの資料ともう一つ、その前のA3の「認定審査基準確認表」というものがあると思います。通常、適合条件というものを最初に審議いただくことがありまして、A3の認定基準表に従いまして各地区担当から適合条件を一つ一つ、割と丁寧に説明をしていました。しかしながら以前、審議会の皆様からのご意見をいただきましたが、合致しているかどうかというのは、担当課である市民自治推進課で事前に確認できるものを表に落とし込んでいることから、先ほどご説明いたしました各地区15分の審議の中では、地区担当から最初に1地区15分のうち大体3～5分程度、その地区の1年間の振り返りの概要をご説明いただくのに合わせまして、こちらの基準表に従って確認したところ、合致していることを確認しておりますというような報告を一言で終わらせていただこうと考えております。その分、ご審議にいただく時間を増やしたいと考えております。ですので、実際の審議会には、こちらの表を確認しつつ、最初に各地区から上がってきたこういった束の資料、29年度報告資料の確認をすることになります。こちらにつきましては事前に名和田先生、三輪先生と今回の審議会の打ち合わせをさせていただきまして、ご指摘いただいた事項を昨年のもに少し加えた形になっております。まず、表書きの部分です。今までは目次だけだったのですが、下に設立趣意書の抜粋というものをつけております。

また、まだご意見として反映はできていないのですが、5ページに「主な事業の振り返り」というものがあります。これは基本的に運営委員会などとは別で、各地で取り組んでいる主な事業について抜粋をしていますが、この中で、単純に例えば何月何日にどんなイベントを実施して何人が参加したという簡単な報告ではなく、その事業の効果等を記載することで皆さんの助言のヒントとなるのかなということを考えておりまして、そういったことに注意して記載することを考えております。

また、ページが戻って、4ページの「各種会議を除く事業」というものがあります。例えば、中段に「体育祭（共催）」とありますが、これも具体的に「共催：〇〇地区体育振興会」というように共催先がわかるような記載に統一を図ろうと考えております。

以上3点が、会長・副会長から事前にご意見をいただいて反映したものを実際、皆様にお送りすることを考えております。

この2点は昨年とほぼ同様の資料になりますが、今回新しい資料として提案させていただくものとしたしまして、資料2です。「平成29年度〇〇地区まちぢから協議会 主要事業の実績表（新様式案）」というものをご用意いたしました。こちらは昨年6月に今回同様、前年度になる28年度の振り返りを行った際に三輪委員より、例えば先ほどの活動状況資料の3ページ、4ページを見ていただきますと、各種会議の報告として1年間の会議の日付、会議の名称、主な内容などが記載されています。総会資料における活動報告の

記録としては有効ではあるものの、それぞれの会議と、その後に出てきます事業とのつながりがわかりにくいとのご意見をいただいております。そのことから今回新たに、各地区から出た資料に基づいて、地区担当で審議会資料として新様式の実績表をつくることを考えております。この実績表は主要な事業を軸として、29年度にどのような経過で、どの時期に実施されたかが体系的に把握できるものとなっております。事務局といたしましても、今回実際に作成してみた感想として、個別の事業として実施していたものを全体として見るができるため、例えば広報発行のタイミングや次年度に向けたスケジュールを検討する際に参考になるものであることから、今回は事務局側で審議会資料として作成いたしますが、今後は地域にこの書式をフィードバックして、できれば有効に活用していただくとともに、次年度以降の報告の際には地域担当ではなく地域側で、この報告の資料とあわせてこういったものを作成していただこうと考えております。

もう一つ、こちらも新様式になるのですが、「資料3 茅ヶ崎市認定コミュニティの活動状況等に関する助言シート（案）」というものがございます。先ほど説明の冒頭でお話ししたとおり、次回審議会では1地区15分の割り当てのうち、冒頭3～5分程度は地区担当から振り返りをお話ししますが、残りの時間で委員の皆様による意見交換の時間をできるだけ多くとりたいと考えていることから、当日の議事の進行を踏まえ、事前に資料をお読みいただき、お気づきの点や助言内容をこの後説明する助言シートという形で市へ返送いただきまして、その内容を取りまとめたものを当日の審議会でも共有し、話し合ってくださいことを考えております。

資料が行ったり来たりで申し訳ないのですが、資料1のスケジュールを見ていただきたいと思います。本日の審議会の後、事務局では各地区から提出された資料や実績報告書の取りまとめを行うとともに、4月16日に、先ほど特定事業の説明をいたしました「第1回認定コミュニティ企画事業審査会」を開催いたします。29年度に各地区で行われた10の特定事業の評価を審査会で行い、ここで作成された評価表とともに、4月20日前後に今説明した資料一式を委員の皆様へ送付することを考えております。委員の皆様におかれましては、ゴールデンウィークを間に挟む中で、タイトなスケジュールとなっておりますが、これから説明する資料2の助言シートに、報告資料に基づいて記載いただいた上で、5月7日ごろまでにご返送いただき、事務局で当日資料の取りまとめを行います。

助言シートの実際の内容ですが、1ページを見ていただきますと、助言シート（案）ということで助言の視点と記載例を書かせていただいております。まず、上段の視点についてご説明をいたします。現段階では、視点の例といたしまして読み上げますと、「当初予定していた主催・共済事業の計画や実施方法について、さらなる事業の展開に向けた応援や助言の視点」「他の地区の取り組みと比較した際に、その地区の特性を活かした活動や工夫を凝らした点について、これからの期待を含めて助言する視点」が記載してあります。

委員の皆様には記載例に基づきまして、2枚目以降にありますA4、1枚に今のところ4地区の枠を設けているのですが、この中に気づいた点や助言、ご意見等を書いていただき、ご返送いただくことを想定しております。

そして、今回お送りする資料に加えてもう一つ新たなもの、今日はサンプルとして机の上に置いてあったと思いますが、新たな地域コミュニティの取り組み、各地区の取り組み状況というもので作成途中になっております。もともと審議会が始まった際にはピンク色のファイルだったと思いますが、各地区の規約や委員名簿等を載せたものをお配りしました。ただ、審議会が始まった当初のもので特に更新をしておらず、皆さんにつきましては審議のたびに新しい規約などが入ってきているものと思われるのですが、確認をいただく際にそのファイルを一つ一つ見るのはなかなか大変ではないかというご意見もありましたので、今回こういったサンプルで12地区のものを、実際はA3の4ページ程度になるとは思いますが、お配りをしようと思っております。こちらには実際に各地区の委員構成ですとか、大体、年間こういった形で会議をやっているとか、そういったことが一覧で落とし込んであります。先ほど言った視点の部分でいう、他の地区の取り組みとの比較の際には、一つ一つの出されてくる資料はかなり膨大になり、それを見比べるというのはなかなか大変ということがございますので、こういった一覧表のものもあわせて送付を考えております。

資料が多く、また説明がわかりにくかった部分はあると思いますが、これで終わります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○名和田議長

ありがとうございます。資料が膨大なのですが、まず、ホッチキスで留めてある大きな資料、各まちぢから協議会から出された報告書ですね。これは、我々が既に目にしていたものをどう改良できるかということで、最後にご説明をいただいたサンプルというA3のものは、今の分厚いものを我々が作業しやすいように簡略化した概要版みたいなものですね。これらを見て、まちぢから協議会の状況を把握して審議会として意見や助言を出すという作業が今後あるわけなのですけれども、そのスケジュールにつきましては、資料1に基づいている説明でありました。助言の際に、我々が作業をするためのシートが資料3だということです。それから、まちぢから協議会が主要事業の実績を報告する際に、各事業に分けてそれぞれ時系列で整理したものがあるとわかりやすいのではないかとということで、そのサンプルをお示しいただいています。ですから、幾つか仕分けして考えるべきなのではないかなという気もするのですが、最初から仕分けするというのもちょっとやりにくい気がいたしますので、とりあえず、今のご説明を聞いて感じておられることを随時言っていただくと。途中どこかで、だんだん私自身も混乱してちゃんと整理できないかもわ

かりませんが、整理をして、少し柱ごとというかフェーズごとに分けていくとしようかなと思います。ですからとりあえず、お気づきになった点から、どこでも結構ですので教えてください。

○三輪委員

この間、少し意見交換をさせていただいた経過があるので、確認も含めて私の意見というか話をしたいと思います。

まず、認定審査基準確認表というA3の縦のものは、前回の審議会の際には、つらつらと説明を一日されて、これは当然ではないかというようなものだったので、これ自体はもう事務局で確認してもらおうということで、まず時間を短縮すると伺って、それで理解していくというのでよろしいですか。

○事務局（永倉課長補佐）

はい。

○三輪委員

2つ目は、この冊子、活動状況資料を各協議会が出してくるのですが、これが12地区出てくることになって、すごくわかりにくいというのがありました。まず、もともとどうい協議会だったのかというのを一覧にすることが、ぱっと判断できるかなというので、このA3横向きで12団体が並ぶようにしてもらったら見やすいかなというのをご助言しました。

それから、これは個人的に私が、先ほどあったサンプルのA3の3、4ページ目が、やったことが、だーっと並んで、やった感満載には書かれているのですが、どういうタイミングでちゃんとできていて、きちんと事業とひもづけができていのかとか、その次の5ページ目、数字的に何人集まっただけが評価になるのもどうなのかなと思ったので、その辺を時系列で整理しながら全体像が見えるようにしていただくことが良いのではないかというご助言をもとに、事務局がつくってくださっているのだと思います。個人的にはすごくわかりやすいのですが、仮にこれを地元の方は多分つくれないのではないかと考えているので、その辺はまだ検討で、事務局の担当の方が少し意見交換しながら最終資料として常に出してくるというような位置付けが、ここのコメントでここがこうだったらいい、こうやるつもりだったのにこうなったみたいなことなども含めてもらっていてもいいのかなと個人的には思っているのです。そういう意味では、事務局のそれぞれの地区担当がそれを板書してきた際に、どんな感じだったかというのもあった方がいいと思いました。ただ、時系列としてこう整理してほしいというのは、この資料だけでは読み取れなかったの

で、こうしてほしいなというのが、出していただいた2つ目です。

最後に、このシートは、私たちがワードで書くのか紙で書くのか、まだよくわかりませんが、これは各団体のコメントをわーっと書くというので、今の話を踏まえて気づいたことをメモ的に書いて、そのメモを持ち寄った資料で当日話すというだけで、これをもとに全部どうのこうのというものではないと理解しているのですが、それでいいのですね。

○事務局（永倉課長補佐）

はい。こちらの書式については、もちろん電子データでお送りする予定ですので、全体の資料を見ていただいて担当に直接聞いてみたいことでも結構ですし、気づいた点や、もちろん助言等を書いていただいて事前にお送りいただきたいと思います。その事前にお送りいただいたものは、一応1つのシートにまとめはするのですがけれども、実際1地区1枚のシートの中にいろいろな質問や意見があって、質問された方のお名前が括弧書きで入るような形で、それに基づいて限られた時間の中で皆さんが自由に意見をいろいろお話しただいて、最終的には助言等をまとめていただくということを考えております。

○三輪委員

あくまで、そのためのベースのメモ的なものだという理解でいいのですよね。

○事務局（永倉課長補佐）

はい、そうです。

○三輪委員

これをそのまま地域に返す、そういうものではないと。

○事務局（永倉課長補佐）

ではないです。

○三輪委員

そう理解していたので、おおよそ正しいかなと思います。

では、私は確認でしたので大丈夫です。

○名和田議長

ありがとうございます。今の三輪先生からの事前のご助言にかかわる確認で大分、先ほどの資料に加えてわかりやすくなったかなという気もいたしますので、どうぞ、さらに引

き続いて、それぞれ意見等をお願いいたします。どうぞ。

○上原委員

例えば、各種会議が入っていますよね。その次に、各種会議を除く事業で（市民集会と防災訓練など）となっていて、こちらは年度が違うから、最初はこれとこれが連動するの
かと思って目で追っていたのですが、これはサンプルだから連動していないのですよね。

○事務局（永倉課長補佐）

どちらも今はサンプルですので、実は違う地区のものでできております。

○上原委員

そうですね。だから何を言いたいかという、これを読んで目が、各種会議と書いて
あったのが市民集会、防災訓練、視察研修などとなっていて、これとこちらがリンクする
というか、これとこれというのわかるような何かもうちょっとあればいいのかなど。
次は市民集会、防災訓練などと、ここで個別に入ってきてくれていたから、こちらの市民
集会と防災訓練を見ればいいのかと理解したのですが、各12地区でそれぞれ書き方が変
わってしまうと、当然これも並びが変わってくるわけですね。

○事務局（永倉課長補佐）

実は事務局でも、最初は運営委員会、総会というのも横軸に入れていたのです。ただ、
そうすると、会議の回数が多い地区なると毎月いっぱい入って余計わかりにくいというこ
とがございましたので、今回出させていただく中では主要事業という位置付けにしており
ますので、今は連動しておりませんが、こちらの表でいうと、4ページの各種会議を除く
事業という一覧がございます。こちらに載っている事業で主要な事業を抜粋して、こちら
の表に載せてくることを想定しております。

○上原委員

わかりました。

○三輪委員

私もそれはわからなかったのですが、サンプルが多分違うからということですね。要は、
こちらの資料で、こちらに載っているのはどれかというのがわかるようにしておけば、星
印か何かわからないですが、そういうふうにしておいてもらえればいいということなのか
なとは思いますが。今の理解でいえば、こちら側は、みんなさんざんやっているから載せな

いよという理解でいいですよ。

○事務局（永倉課長補佐）

はい、そうです。工夫するような形で対応いたします。

○名和田議長

この表、今、三輪先生が、地元が自立的につくれるかちょっと疑問があるとおっしゃって、私もそう思うのです。今はかなり事務局が前のめりに入っていたのでできるのですけれども。地元が、むしろこういうものを、自分たちの事業の管理ができるような一つの有用なツールとして発展させていくためには、地元が自分で書けるようになればいいと思うのです。協議会がだんだん発展してくるといろいろな部会ができ、事業も増えて、これに書き切れなくなってしまうという感じがします。そこで主要事業という話になると思うのです。では、主要事業というのをどうやってピックアップするのかというのは、なかなか悩ましいですよ。私に関わっている限りで言うと、例えば、宮崎市は、どの地域も随分たくさん事業をやっていて、とても評価委員会は見切れないのです。ですから、ピックアップ事業として3つぐらい選んでいます。たくさんやっている事業のうち3つ、その3つぐらいの事業についてヒアリングしていると思います。そうやって、ここでいうと主要事業を選別しているという状態で、この表をどうやって協議会が自前でつくれるようになるか、それを協議会自身の事業の進行管理に役立つようになるかという点については少し今後、試行錯誤が必要かなと思います。

○三輪委員

私も同じ思いで、要はP D C A的に自分たちが何をやってきたのだろうというのは、ものすごくわーっとやってしまったのだけれども、結局どう動いていたのだろうとかいうのを一回振り返るというタイミングが常にそれぞれあって、会が成長していくという発想でいえば、これを一緒につくっていくというのをもうちょっと……例えば私がよくやるのは紙ベースでパズルみたいに置いていって、パーツになっているので上から置いていって一回それでシートにしてコピーしてしまうみたいな。会議、会議というパーツがあって並べて、いつやった、いつやったとやって、それでビニールのシートを上にかぶせてコピーしてしまえばそれでいいと。ベースになるものはそういうふうに、ぱぱっとやってしまって、その上に何か簡単にホワイトボードなどで書いていくというようなことも会議の進め方としては、可能性があって、そういうのを横で見せてやってあげるとわかると思います。これは今、事務局が私たちのためにつくってくれている資料だとすればすごくありがたいのですが、もう一方の趣旨としては今、名和田先生がおっしゃったように、住民の方々が

振り返って育っていくためのツールだという理解をすると、その辺を何回か一緒に話しながら、できるところはさっさとできてしまうかもしれないし、できないところはできないので何回か伴走するみたいなことを前提に進めるという発想でもいいかなとは思っています。

○事務局（富田課長）

ありがとうございます。先ほど、永倉の説明でもありましたとおり、これは今回、我々担当者がつくっておりますけれども、やはり一度地域にも見てもらって、全体を捉えていただくということも一緒にやっていきたいです。ゆくゆくは地域へとありますが、なかなかまだ地域の事務局機能の差もございますので、それは我々もしっかりと一緒にその地区の成熟度に合わせてフォローしていきたいと思っております。ありがとうございます。

○大塚委員

まちぢから協議会のホームページ等を拝見しても、やはり地域それぞれに特色があって、かなりばらつきがあるかなと思うのです。一つ一つ見てしまうと、こちらはこういうのですごく見やすいなとか、こちらは、ん？というのもあったりするので、その辺がそろそろような形で市でもサポートしていただけるといいのかなと感じました。

○水島委員

活動状況資料の下にまとめみたいなのがありますが、とてもいいと思います。こういうところは、私としてはポイントで見たいなと思っています。実は、書いている内容とかこういうものは、どこの地域でも同じようなものでタイミングや回数などの違いはあっても、余り大きな違いはないと思うのです。要はここに中身が少し書いてありましたが、担い手がなかなかいないだとか、他の課題らしきものを書かれていました。そういう取り組みを、特徴的にやったようなところとか、課題については、共通のものがいっぱいあるのかなと思うので、割とこの辺はうまく書き方を使っていただいて、委員の中にはご専門の先生方もいらっしゃるので、そういうところにご意見を出した方が、会としてより有効なのかなという気がします。

あと、この資料は、まちぢから協議会の皆さんには共通で公開されるのですよね。

○事務局（永倉課長補佐）

一応フィードバックいたします。

○水島委員

そうすると、その取り組みを参考にさせていただけるような資料になっていくといいなと

いう感じがしましたので、地区の特性等とかこういう欄を、ぜひうまく生かして書いていただくといいかなと感じました。

○大塚委員

私も、この地区の特性というは大変興味深く読ませていただいたので、やはりここを充実させていただけるといいかなと思います。

あと、5ページから活動の様子などが書かれています。そちらも、各地区の特定事業でいろいろなことをされていて、例えば中学生の学習支援や夕食支援事業等もあります。「孤立を防止し、地域内の交流を深め」というような文言があるのですが、具体的にそういった孤立を防げた事例とか、何かそういうわかりやすいものがここに載ると、さらに評価しやすいのかなと感じます。

○三輪委員

本来であれば団体側が、これが自分たちの趣旨でした、それに対して29年度は具体的に何が一番頑張ったかみたいなことを書けるといいなと思っていて、それが5ページに何となくありそうなのですが、ただ、5ページはどうしても、やりましたという事実だけが淡々と書かれていて、何の目的でそれをやったかとか、結局よかったのか悪かったのかみたいな評価までは書き込めていないですね。本当はそれがいいのではないのという話もしていたのですが、できるかな、できないかなみたいな感じになっているという状態です。

○水島委員

読んでいて、頭の鏡のところと、5ページと8ページあたりに特定事業がよかったというので、このあたりを中心に見るのかなとは思ったのですが、特定事業の概要などというの、少し課題的なものも書いてあるし、その中でいろいろな取り組みをされたのだろうとか、事業をうまく進める方法、そういうものを少しわかりやすく書いていただけると、いろいろな意見を出せるのかなと思いました。余りさっぱりしていると何を言っているかわからないところもあります。

○事務局（富田課長）

今のお話、わかりました。地域担当職員が携わってきているこの地区に対する地域目線というか、地域の方と同じようなベクトルでの言葉を記すことは、そういった3行か5行ぐらいということもありましたけれども、そこでちょっとこの地区を紹介するというようなものはいけるような気がします。

○水島委員

特徴的なところだけでもいいかもしれませんね。

○事務局（永倉課長補佐）

実際の審議会では3分か5分の中で、できれば地区担当からの振り返りのコメントをしようと思っていたのですが、事前に書いてあったほうが、委員の皆様が助言シートを書くに当たっては確かにいいかと思います。ただ、残ってしまうという部分では、地区担当の思いが地域の方の目に触れた際に、ちょっと心配ではあります。あくまでも、地区担当目線でのコメントになってしまいますので。

○三輪委員

助言シートに地区担当からみたいな、地区担当はこう思っていますと。

○事務局（永倉課長補佐）

では、枠をもう少し広げて、最初にこの地区に対する振り返りを入れると。

○三輪委員

それぞれのところの上に地区担当からというのが書いてあって、その下に私たちのコメントを書くようにするとか。こちらにすると確かに残るといふのがあるので、今の話は来年度以降、地元がPDCA的にやるというのは入れておくのですが、それが今年度は無理という話であれば少なくとも地区担当はこちらにコメントをしていただければ。

○事務局（富田課長）

地区担当が、評価はしないで、その地区を紹介するようなイメージですね。

○事務局（永倉課長補佐）

こんな1年だったという振り返りを簡単に書くと。

○三輪委員

こういうところに特に力を入れましたとか、こういうところに苦労しましたとか、そういうのはこちらでいいのではないですか。

○事務局（永倉課長補佐）

はい、そうですね。

○水島委員

地域の中でこういうところは少しよくなったとか、いい話も少し伺っているのですが、ぜひそういうところは反対にPRしてもらってもいいのかなとおみます。それを他の地域でも生かしてもらったらいいのかなと思いついてお聞きしていたので、決してあら探しするかそういうつもりはさらさらしないのです。

○名和田議長

今のは協議会の全体像をアピールという、そういう話だったのですが、個々の点でも、担い手が広がったとか、あるいは、こういう事例のエピソードがあったとか、いわゆる評価論というところのアウトカムですよね。こういうことをやりましたというアウトプットではなくて、やったことによって地域がどうよくなったのかということ、なるべく書くように努めてほしいということもあるかなと思います。5ページあたりのことで、こういうことをやりました、工夫しましたとか、それをやったことによってどういう効果があったのかということですね。先ほど、担い手がふえたとか、そういう視点も出ましたし、あと、こういう効果があったらいいということ、事例で示すというお考えも出ました。それぞれの事業についてなるべくアウトカムの視点で記述をするということは、この審議会の一つの意見として挙げられるのではないかと思います。

いろいろ出していただいておりますが、他にいかがでしょうか。助言シートは、先ほど三輪先生から、地区担当からという欄を設けるかどうかという案が出ましたけれども、それ以外に我々がこれをどう書くかという視点で言うと、特定化された様式ではなくて自由に書きなさいということですが、いかがですか。助言シートについては、よりいろいろな視点を特定して書かせるものにしないで、割とこうざっくりしたものでいいかなという、そういう問いかけになりますね。先生、こういうことでよろしいですか。とりあえず、来年度初めのころから作業していただくということになります。

○上原委員

どのくらいの時間がありますか。

○三輪委員

送られてきてから10日ぐらいの感じになっていますが。

○三輪委員

4月20日に送られてきて5月7日に提出という、ゴールデンウィーク明けに返送です

ね。

○事務局（永倉課長補佐）

16日に審査会がありまして、こちらとしても18日ごろには資料のとりまとめを行うので、20日前後と書いてありますが、できれば18日ぐらいには送る予定と考えております。

○三輪委員

これは、びっしり書かなくてもいいのですよね。

○事務局（永倉課長補佐）

もちろん、そうです。

○三輪委員

1行、2行でもいいという。

○事務局（永倉課長補佐）

もちろん空欄でも結構ですし、あとは当日のきっかけになるものと考えておりますので、当日話をする中で、いや、私はこう思う、こうではないかということをお話しいただきたいと思ってこちらを用意しているものですので、特に記載なしというのも、もちろんあると思います。

○名和田議長

我々の審議会の任期という問題があって、それで5月18日までという話になっているのですが、これはもうちょっと任期が違ったら、もうちょっと後でも良かったかもしれません。

○事務局（富田課長）

それは確かに可能かもしれませんが。

○名和田議長

余り後ろへ行ってしまうと点検した意味が、それを生かしていくというのが、協議会に助言するということがちょっとね。宮崎市などは年度中にやっているのです。だからまだ事業が終わっていないのがあって、そういうタイミングでやっています。

○事務局（永倉課長補佐）

皆さんにお送りする資料といたしまして30年度の計画というものが入っているのですが、お送りする時期にはまだほとんどの地区で総会が終わっていないのです。本当に予定という意味での計画や予算案になってしまいます。今回は2年に1回の任期ということで5月の中旬の前に、できればこれまでご審議いただいた委員の皆様に戻りをしていただきたいという思いがありましたので5月中旬ということなのです。もう1年先、来年については委員改選がございませんので、余裕を持って6月ごろに落ちついて振り返りをできるということはあるかと思われま

○名和田議長

大抵、よその自治体は年度中にやっているのかもしれないですね。私が関わっている限りだと年度中にやっているような気がします。だから、まだ終わっていない事業があり得るのですよね。

○上原委員

例えば年度中だと具体的に……

○名和田議長

2月とか3月です。

余り遅くなると地域にとっては助言を生かす機会が限られてしまうので、5月中ぐらいにはやるのがいいのですかね。

他に、この様式や資料などの考え方について、ご意見はありますか。

○上原委員

12個あると、思い出しながらでない、地域性とか子供が多いところだとか、マンション・団地が多かったとか、自分たちの記憶をたどりながら書かなくてはいけないかなと。

○名和田議長

茅ヶ崎は多くても13地区で打ちどめだから、いいですね。他の自治体は、もっと多い市があります。逗子は5つで、今のところは4つですが。でも、やっているとは分岐する感じもちよつとあるかな。今のところ、分かれたいとかという話はないのでしょうか？

○事務局（富田課長）

そうです。29年度に12から13になったのですが、他については今のところ、そういった声は上がっていません。

○上原委員

でも、やはり皆さんに聞いても、知名度がいまいち浸透していないですよ。茅ヶ崎市民の人に話をしても、いまいちなというのがあります。

○名和田議長

初動期はどこもそれを気にしていますね。知名度は、たしかアンケートで何か茅ヶ崎市がやっていませんでしたか。

○事務局（富田課長）

実際は市民アンケートとか、ちょっとタイミングに乗れなかったもので、次にいつ、市全体としてさまざまな、ランダムにお願いするアンケートもあるのですが、今その予定が見えていない状況です。

○名和田議長

例えばですが、74年からずっとやっている目黒区の住区住民会議という似たようなのがあるのです。あれは、ずっと周知率15%、7人に1人しか知らないのです。

○上原委員

人の出入りが激しいからというわけではないのですか。

○名和田議長

こういう言い方をすると失礼ですが、活動がちょっと低調なのかもしれません。それに対して上越市、地域自治区という地方自治法の規定でこれを行っているところは、だんだん上がってきて、5年目ぐらいで30%ぐらいだったのかな、多分、今はもうちょっとって半分ぐらいの人は知っていると思います。宮崎市も半分以上です。ただ、やっていてお役に立てば、だんだん周知率は上がってくるのだと思いますが、今は初動期ですので、特に広報事業とかそういったことが重視されるべきだと思います。それから、先ほどアウトカム視点が重要だと申しましたが、その中に知名度というか、まちぢから協議会というものが自治会等々とともに地域の活動組織として存在している、役に立っているということが地域住民にご理解いただけたとか、そういうアウトカム指標の一つとして知名度

というのを考えるべき時期なのかなと思います。

○上原委員

市役所の住民票をとるところとか、昔の市役所に大きなテレビがあって議会の様子が流れていたと思うのですが、今は小さなものが番号待ちとか何かで出ているだけで、あいうのはなくなったのでしょうか。

○事務局（富田課長）

ロビーがあるのですが、大型ビジョンでいろいろな市の情報を流しています。

○上原委員

その中に、まちぢから協議会を知っていますかといったものは出ているのですか。

○事務局（富田課長）

そうですね、やりましょう。

○上原委員

そういうのを流しておいていただければいいと思います。

○名和田議長

それは、その時間配分で熾烈な争いがあるとは思いますが、ぜひそこに割って入っていただけたらと思います。

○上原委員

そうなのですか。ぼーっとしている待ち時間に見ているので、そういうのがあるだけでもいいかなと思います。

○名和田議長

プロモーションビデオを再生して。

○上原委員

すり込み。そうすると、地元の何かを見た際に、何となくそういうのがあるといいかなという感じです。

○名和田議長

他にいかがでしょうか。中間的にまとめになるかどうかわかりませんが、いただいたご意見を覚えているうちに整理しますと、各協議会の事業を体系的に見やすくするような書式にしてほしいということが、特に実績表はかなり有用だと思うし、地域にとっても有用であると。地域が実績表を自分で書けるようにするとか、あるいは、項目を厳選するとかいった工夫は、今後必要となってくるであろうという資料の作り方についてもご意見が一連あったと思います。

それから、これも、資料の作り方というのはそのとおりなのですが、アウトカムの視点、何をやったかという事業内容の説明だけではなくて、それによって地域がどう変わったかということを示すようにしてほしいと思います。例えば、担い手が増えたかどうかとか、どういう効果があったかということを示すようなエピソードを少し書いていただくとか、あるいは、今出ました知名度です。まちぢから協議会というものの存在が地域に若干、広く知られるようになったという効果があったとか、そういったアウトカムの視点を大事にした記述をしてほしいということです。これに関連して活動状況資料、もしできれば、最初の「地区の特性等」みたいなところに、この1年間の総括的な文章を書けるといいですが、これはちょっと難しそうだなという話もありました。難しそうであれば、その代替的なやり方として助言シートに「地区担当から」というような欄を設けて、地区担当から、事務局として見ていてどういう特徴が全体としてあるのかということを示し書いていただくと、我々としても評価がしやすいということがあると思います。

それから、これは確認したいなものですが、認定審査基準確認表という、これは条例に適合しているかどうかということなので、事務局が確認すれば十分だと思います。

大体このようなご意見が出たかと思いますが、さらに今、出ていることについても、あるいは、それ以外の論点でも何かありましたらお願いいたします。大体、先ほどまとめたようなこと以外は、提案されている様式でとりあえずやってみて、またやっていたらいろいろ改善点も出てくると思いますので、いいということでしょうか。そうしましたら一応、諮問されているので答申となるのですが、今日は、事務局は何か、この点はどうなのだろうという自問というか何かありましたらお願いします。

○事務局（富田課長）

今日は、サンプルとしてお示しして、内容は28年度当時のものですが、実はもう既に29年度のもので地区からも続々と届いています。これはあくまで地区の考え方に基づいたものになっていますので、そういった視点で書いてきてくれている地区もあるかもしれないのですが、場合によっては従来型のものであるのかもしれないというところです。まだ全部は確認していませんが、そういった意味では今回、委員にお話しいただいたところが、

全部がそのとおりになっているかはわからない状況もあります。ここについては、地域と話をしていたとしても、地域がここはしたためてくる形を今はとっていますので、ご承知おきいただきたいと思います。

○名和田議長

答申したからといって、すぐにそのとおりになるとか、そういうわけでもないと思います。それはこちらの考えで、委員がこうしたらどうと言って、現状ではまだそれは無理だからというのが出てきたら、それに対してまた審議会として意見を言ったり助言をしたりする、そういうことで構わないと思います。

○事務局（富田課長）

よろしくをお願いします。

○名和田議長

最終的な答申書の内容は会長・副会長にご一任いただきたいと思います。

では、次に議題の（２）その他です。その他は、事務局から何かあるのかもしれないですが、まず皆さんから、この審議会の運営や中身について何か問題提起したいことがあればお願いします。先ほどは今後の委員の人選の話が出ましたが、その他のことでも構いません。何かございましたら、お願いします。

思いつきで申しわけないですが、茅ヶ崎市の自治会の加入率はこの１年間、大きな変動はないでしょうが、どういう状況でしょうか。

○事務局（富田課長）

毎年、茅ヶ崎では４月１日現在にとっておりまして、２９年４月、各自治会から上がってきたもので出すと７６％前後です。年々、１％ぐらいずつ下がってきているのが現状です。

○名和田議長

では、来年どうなっているのかというのは４月１日現在のものが上がってくるということでしょうか。

○事務局（富田課長）

各自治会から新年度の体制ですとか加入数というものが上がってきますので、それが集まった段階で我々が計算して出す形になります。

○名和田議長

今ちょうど横浜市と同じぐらいということですね。75%ですから。ありがとうございます。では、委員の皆様から特に問題提起はございませんでしたが、事務局から何か、その他ということで、ありますか。

○事務局（富田課長）

次回の日程の件でございます。先ほど、スケジュールの中でもお話しさせていただきましたが、5月17日前後とさせていただきます。現在の委員の皆様は28年5月19日から2年間、委員をお願いしてございました。5月18日までに開催をしておきたいというところがございます。日程案といたしましては、お配りの次第、その他のところに載っておりますが、5月11日の午後、または17日の午後、これを中心に、改めて日程調整をさせていただきたいと思っております。4月に入ってほどなく、改めて皆様には確認の連絡をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○名和田議長

今日はご欠席の方がいらっしゃいますので決められないのですが、そのうち割と近々に事務局から問い合わせが来るということでもあります。

○事務局（富田課長）

この審議会の2年の任期が満了となりまして、今後のことでございますが、まず、名和田会長と三輪副会長におかれましては、次期審議会にも学識者ということでご協力いただくということをご内諾いただいております。また、青年会議所、社会福祉協議会、そして商工会議所にも本日付で、それぞれ改めて依頼をさせていただいたところがございます。また、公募委員につきましても、繰り返しになりますが、次回5月の審議会までは一緒いただく形になりますが、次期の公募委員の選考が3月13日に行われました。その結果も報告いたします。5名の応募をいただきまして、そのうち2名を決定いたしました。結果といたしましては、お二方とも女性、市内在住の方ということとなりました。この新任の方につきましては、6月ないし7月ごろ行われる30年度第2回の審議会でオリエンテーションをする会議としたいと思っております。以上でございます。

○名和田議長

では、あの方の方は留任されるということで、来年度もどうぞよろしく願いいたします。少なくとも第1回目まではこのメンバーです。

では、以上で全ての議事を終了いたしました。本日はどうもありがとうございました。

会長署名 名和田 是彦

委員署名 水島 修一